

年が明けて
近所に住んでいる
おばあちゃんの家
に
晴れ着姿を
見せに行った

その帰り道
大木さんに
偶然出会った

あ：
明けまして
おめでとう
ございます

同じ市内に
住んでいるのは
知っていたけど
街で会うのは
初めてだった



そのまま
大木さんがおうちに
招いてくれた

艶やかだね
楓ちゃん…

むいゃ

私もセックス
したかったから嬉しかった
でも、ちょっと
着物が型崩れしないか心配

ン…

あっ…

大木さんが
私の晴れ着を褒めて
くれる
そのままの姿でセックス
したいと言ってくれた

むいゃ

むいゃ



ンッ

シユル
シユル

着物は結局
乱れてしまった
だけど、そんな事は
すぐに忘れていた

大木さんとの
セックスで頭が
いっぱいだったから…

アッ
ンッ

アッ

シユル
シユル

アッ

アッ

おちんちんを舐めさせてもらった
大木さんも舐めてくれたけど
すごく濡れちゃったから…
大木さんの口元をびしょびしょに
しちゃったかもしれない…

その年の初めての性行為を
「姫始め」というらしい
私の姫始めは大木さんだった

ンッ
ズッ

あッ
あッ
ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

おちんちんを入れて
もらいながら
そんな事を大木さんに
教えてもらった
だけど、出し入れされてる時に
雑学を教えられても
ちゃんと覚えてられないよ……





アッ

アッ

あッ

あッ

んっ...

アッッ

あッ

アッッ

はッ

はッ...
そろそろ
出る...

アッッ

んっ

いッ...
イッって...
くだっ...さい...
わたし...も、
もう...

アッッ

んっ

